

落合地域総合センター起工式 開所に向け建設工事始まる



落合地域総合センターの完成予想図

落合地域総合センターの起工式が4月30日、建設地である落合公民館跡地で行われました。関係者約70人が出席し、工事の安全を祈りました。建物には地域産木材も使用し、冷暖房設備には木質バイオマスボイラーを採用。木造と鉄筋コンクリートの2階建構造で、延床面積は総合センター棟が約4千220平方メートル、エネルギー棟が約460平方メートル。同センターは落合支局のほか、公民館、図書館、保健センターの機能を備えるもので、平成27年度中の開所を目指しています。



起工式で鍬入れをする太田市長

歴史ウォッチング
歩いて実感、地域の歴史

地域の史跡などを歩いて訪ねる歴史ウォッチング（久世生涯学習推進会議・久世公民館主催）が、4月27日に行われました。落合中学校に集まった12人の参加者が木山神社、木山寺を目指して出発。木山神社の参道には神社までの距離を示す丁石（ちよういし）も多く残っており、参加者は足を止めながらのんびりと歩いています。木山神社からは落合坂と呼ばれる山道をたどり、木山寺を目指しました。



木山神社参道の丁石に見入る参加者



入り口に掲げられた交流定住センターの看板

交流定住センター開所式
「交流・定住」の拠点を整備

交流定住センターの開所式が4月23日、市民活動支援プラザで行われました。移住や定住の情報発信拠点として同プラザ内に整備したもので、地域おこし協力隊や集落支援員が常駐。当面は移住希望者らの相談に対応しながら、空き家や生活環境などの情報を集めた「地域カルテ」の作成に取り組みます。市では、「交流・定住」を市政の重点施策と位置付けており、人口減少に歯止めをかける取り組みを進めています。



市政に関する動きの一部を紹介します

5/12 高槻市長、真庭市を訪問

観光交流並びに災害相互応援に関する協定を締結している、大阪府高槻市濱田剛史市長が訪問されました。銘建工業などの視察の後、本庁舎で市長と会談され、今後の両市の協力の方法などについての確認が行われました。



5/15 真庭で視察と地域懇談会開催

昨年、市が実施したICT街づくり推進事業を通じて、普及への課題や地域の声を反映する観点から、同事業推進会議が地域懇談会を行いました。バイオマス事業の視察や林業関係者との意見交換会が行われました。



5/21 若い力に期待! 新規就職者にエール

新規就職者激励会が本庁舎で行われ、今年度市内で就職した107人が参加。「求められる社会人の意識と行動」と題し記念講演が行われ、時間と約束は必ず守るなど、社会人としての心構えを学びました。



市長室から こんにちは!

真庭市の人口減にストップを!

最近、人口減少に警鐘を鳴らす調査や報道が多いです。実はかなり前から指摘されており、体系的な対応策が取られないまま今日に至っています。真庭市についても深刻です。既に市議会などでも対策をとることを宣言し、26年度当初予算でも対策費を計上しました。交流定住センターを設置し、組織体制も作りました。今後すべての施策を人口減ストップにつなげていきます。市民の皆さんにも積極的に動いていただき、総力を挙げて、まずは社会減を止めましょう。

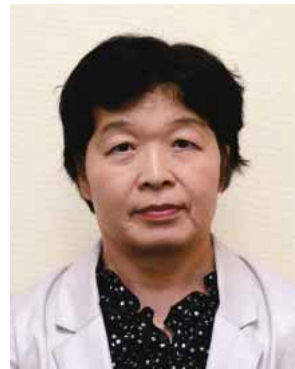
※社会減とは、転出者が転入者を上回り、人口が減ることをいいます。



声援を受け、練習の成果を披露する蒜山方面隊

第61回岡山県操法訓練大会 迅速で正確な動作を競う

5月18日、第61回岡山県消防操法訓練大会が、岡山県消防学校グラウンド（岡山市）で行われました。県内からポンプ車操法の部に15チーム、小型ポンプ操法の部に20チームが出場し、消防器具の基本操作の速さや正確さを競いました。真庭市からは、ポンプ車操法の部に、美甘方面隊と蒜山方面隊が出場。選手は、指揮者の号令のもと、的確な動作でホースを連結するなど練習の成果を披露しました。



教育委員(委員長職務代理者)

森川 洋子 氏
(54歳・下中津井在住)



教育委員長

小谷 真人 氏
(71歳・久世在住)

真庭市教育委員人事 委員長と職務代理者を選任

平成26年3月第1回真庭市議会定例会（2月25日）に、任期満了に伴う教育委員の人事案件が提出され、小谷真人氏の再任が同意されました。5月15日には、教育委員長らの任期満了に伴い、第5回教育委員会を開催。教育委員長に小谷真人委員が、委員長職務代理者に森川洋子委員がそれぞれ選任されました。小谷委員は5回目の就任、森川委員は2回目の就任。役職の任期は平成26年5月21日から1年間です。